

東日本 APM ニュース

ASSOCIATION OF PLASTICS MOLDERS, EAST JAPAN

第488号 2015. 8/5

一般社団法人 東日本プラスチック製品工業協会
 東京都中央区築地3-12-5 築地小山ビル TEL 03(3541)4321
 URL:http://www.ejp.or.jp FAX 03(3541)4324
 発行人 高橋 廣

目	次
納涼会 賑やかに開催…………… 1	事務局レポート 理事会議事録…………… 5
成形加工学会 15年次大会の講演から …… 3	暑中広告…………… 7
会員業況アンケート調査結果(全国版)…… 4	求人のお願いと10月生募集……………11

納涼会 ～ 退任理事も参加し賑やかに開催

～大日本帝国の贅沢品：若いエリートにあえて無駄な時間を過ごさせるシステム～

平成27年7月16日(木)新橋の第一ホテル東京にて、第345回理事会が開催されました。

終了後、15時50分からは、「企業が行うべきマイナンバー制度への対応」と題し、勉強会が行われました。17時からは6月に退任された前理事の鈴木幸雄氏をお招きし、恒例の納涼会が開催されました。



挨拶する大井会長代行

本日所用のため欠席された大野会長に代わって、大井副会長（会長代行）から納涼会の開会宣言があり、また先ほど出席各位のご協力のおかげでスムーズな理事会ができたことの御礼が述べられ、下記のとおり大野会長の挨拶文が代読されました。

『「大日本帝国の贅沢品」～作家の三浦朱門さんは旧制高等学校というものをこう言い表しています。何かと窮屈な戦前の世の中にあってここだけは別天地だったという。そこでは若者たちは自由と自治を謳歌し、哲学や文学に親しみ、あれこれ思索を巡らせることが出来たそうです。旧制高等学校への進学者が同世代の1%しかいなかったからこそ、こういう世界が成り立ったのだろう。

いずれ国をしょって立つエリートにあえて無駄な時間を過ごさせるシステムだったとも言える。ところが今、文部科学省はすぐに役立たない教育は要らないという立場で、旧制高等学校の教養主

義とは対極にあらう。随分割り切った話であり、教養なんかサヨナラというならこの国の未来は心もとないであらう。

あとで値打ちのわかる贅沢品よりも、何事もお手軽な消耗品で間に合わせる時代、ファーストフード・ファーストファッションの次は、ファースト大学だろうかと、三浦氏は話を終えています。

私たちが卒業した大学がファースト大学にならないように見守る必要があると思います。長々とお話をいただきましたが本日は納涼会です。

仕事のことは一時忘れてゆっくりくつろいで戴き、意見交換をして頂ければ幸いです」

また、納涼会の前に開催されました第345回理事会における会長挨拶の代読骨子は以下のとおりでした。

「2015年度の大企業製造業の設備投資計画は11年ぶりに高い伸び率になりました。『収益から投資へ』という好循環は中小企業の一部にも波及し始めています。背景には収益の改善があります。14年度の大企業製造業の経常利益率は7.83%と過去最高を更新しました。消費増税を乗り越えた企業は投資意欲を高めているそうです。大企業製造業は今年度の設備投資を前年度比18.7%増やす計画でいます。計画通りになれば伸び率は1989年度以来26年ぶりの大きさになるとのことです。中国など海外経済の先行きがリスクとしてありますが、設備投資の数字が良くなるのは良き指標だと思います。

話が変わりますが「1分のゆとり探し出せ」という記事がありました。小売店や外食店が顧客と売り場を結ぶ最新技術の導入を競っている。ネット通販の普及で実際の店は商品を確かめるだけというショールーミングと呼ぶ購買行動に対する危機感もあり、リアルな店が持つ強みを探っているとのことです。

ユニクロを展開するファーストリテイリングが運営する実験店は、ざらりと並ぶ9台のレジのうち7台は無人レジでバーコードの読み取り機もないそうです。レジ下のボックスに買い物籠を置くだけで精算でき、精算から品物の包装まで90秒ほどで済ませるそうです。有人レジなら4分以上かかります。7人いたレジ対応の店員を3人に減らしました。顧客一人当たり「3分貯金は」は接客に回す考えだそうです。省人技術は単に人件費を削減するためではなくリアルな店の強みである丁寧な接客やサービスの充実を人々を割くための技だ

そうです。(因みにユニクロで働く店員が1分間に生む売上高は約300円だそうです)

ネット販売に対する店舗販売の難しさを感じましたし、今後どんな商売のやり方に変化していくのかを見守っていきたいと思います」

この後、永年に亘り当工業協会の理事を務められ、その発展に大きく貢献をして戴き、去る5月末に退任された鈴木幸雄氏(五合化学株式会社)に感謝状と記念品が授与されました。



【鈴木前理事へ感謝状授与】

鈴木氏からは、「5月末をもって五合化学株式会社を退社しました。9年間に亘り工業協会の理事を務めさせて戴きいろいろな情報を得ることが出来て勉強になりました。多くの皆様に感謝申し上げます」旨の挨拶を戴きました。

続いて本年5月に副会長に就任された川野幸博氏の乾杯のご発声で納涼の宴がはじまりました。



【乾杯のご発声
川野副会長】



【納涼会会場風景】

成形加工学会'15年次大会の講演から

— 中小企業関係者の講演 —

恒例の成形加工学会'15が6月3日、4日の2日間にわたって江戸川区のタワーホール船堀で開催された。本大会は「裾野を広げる成形加工：基礎を固めて展開へ」をスローガンに開催され、特別セッションと一般セッションに分かれて多彩な発表があった。

青木固技術賞は大きな企業を受賞することがこれまで多かったので、「キラッと光る技術を開発した中小企業にもスポットを当てるため、2年前から技術進歩賞の受賞制度が新しく設けられた。本年度は青木固技術賞の受賞はなく、技術進歩賞で次の2件が受賞された。

[微細形状を有するプラスチック成形用金型へ高離型性を付与する薄膜形成技術の開発—株式会社東亜電化：千葉裕、粕谷昌弘、小野豪哲 地方独立行政法人岩手工業技術センター：鈴木一孝、松村真希]

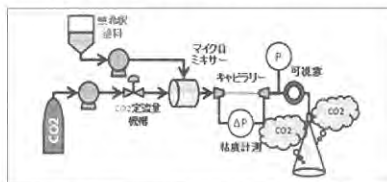
同グループでは、すでに金属表面をトリアジンチオール化合物で処理し、これをインサート成形して金属と樹脂を強固に接着するTRI法を開発している。本技術は金型キャビティ表面に同処理をしてキャビティとの接着性を付与したのち、その上にふっ素樹脂を積層させて成形時の離型性をよくする方法である。ふっ素膜には被膜中の架橋度を向上させることで耐久性の向上に成功した報告された。本技術はすでに実用化されている。

[プラスチック成形品質を高める革新的スプレー塗装技術—加美電子工業㈱：早坂宣晃、早坂裕 東北大学未来科学技術共同研究センター：鈴木明

(独)産業技術総合研究所：川崎慎一朗 宮城県産業総合技術総合センター：佐藤勲征]

有機溶剤系塗料によるスプレー塗装では、塗装に当たって溶液粘度を下げた塗装性をよくするために希釈シンナーを多量に使用する。しかし、これらのシンナーはVOC(揮発性有機化合物)であるため、環境安全の観点から削減を求められている。同グループでは、これらのシンナーを少量の高圧状態の二酸化炭素に代替することにより、低粘度化した塗料を用いてスプレー塗装する技術を開発し、VOCの削減に成功した。本技術を用いると高圧二酸化炭素はスプレー直後に蒸発することから、塗装後に乾燥する必要がなく省エネルギー化にも寄与する。塗装プロセスの概要は図に示す通りである。

装置開発のポイントは、塗料と高圧二酸化炭素を混合するため(独)産業総合研究所のマイクロミキシング技術を応用したマイクロミキサーを用いたこと、塗料中の真溶剤中のいくつかのものを別の



(出所 成形加工'15講演要旨集, p.5)

蒸発速度の遅い溶剤に変更したこと、専用スプレーガンノズルを開発したことなどである。本技術の装置化は完了し、すでに3台の納入実績があるという。

一方、特別セッションでは、「日本のイノベーションを牽引する元気な中小企業」のテーマで6件の基調講演があった。それらの中から、射出成形に関係する1件を紹介する。

[金型の性能を最大限引き出す「機能性金型部品」を生んだ大阪の企業連携イノベーション、(株)新日本テック：和泉康夫]

大阪のものづくり中小企業の経営者19名は、2010年に「株式会社大阪ケイオス」を設立し製品開発や受注活動、人材の採用や育成活動に取り組んでいる。メンバー企業の業種は多岐にわたるが、社員同士の連携、企業力の結合に発展している。企業連携による成果の1つとして、「機能性金型部品」の開発例を紹介された。小物薄肉成形品の成形において冷却に時間のかかるスルー部を効果的に冷却する冷却スルーブッシュを開発した。これによってスルー先端部の糸引き防止や冷却時間の短縮に成功した。また、冷却スルーブッシュを使用すると冷却時間は短縮されるが、成形時のノズル温度が低下する。成形機ノズルからスルーブッシュへの熱伝導を抑制する必要があるとの着想から遮熱ハットの開発に至った。遮熱ハットは全縁ツバ付き帽子の形状をした金属部品で、熱伝導率の低いステンレス製の外部部品と、真空バールン含有する遮熱層を持つ内部部品とで構成される。遮熱ハットをスルーブッシュに貼り付けるだけで成形機ノズルから金型への熱伝導を抑制できる。その結果ノズル温度を従来230℃であったものを205℃まで下げても同等の成形ができた。

これらの講演で発表された開発成果は、いずれも企業間連携や公設研究機関、大学などの共同研究によるものである。このように革新的技術を開発するには企業単独ではなく、所謂「オープンイノベーション」の重要性がさらに高まると思われる。(案山子)

《平成27年4月～6月会員景況感調査報告(全国版)》

総回答数274社

1. 地域別内訳 (事業の中心をおいている地域)

東日本	69社	神奈川県	33社	中部日本	56社	西日本	116社
-----	-----	------	-----	------	-----	-----	------

2. 売上(または取扱)商品の中で最もウエイトの高いものの内訳

日用品・雑貨類	33社	包装用容器・キャップ	37社	電気・電子・通信部品	45社
自動車・輸送機器部品	87社	住宅関連	14社	医療機器	12社
その他	41社				

3. 従業員数の内訳 (パートを含む)

20人以下	69社	21～50人	71社	51～100人	51社	101～300人	55社
301人以上	22社						

4. 今期(平成27年4月～6月)の自社業況について(前期比・前年同期比%)

※網掛けの数字は前回(平成27年1月～3月)の結果です。

※矢印は前回及び前年度比較結果の数値変動を上昇(↑)・下降(↓)・横這い(→)で表しています。

	平成27年4月～6月(実績)																	
	前期(27年1月～3月)比					前年同期(26年4月～6月)比												
	1. 増加 (↑)	2. 横這 (→)	3. 減少 (↓)	1. 増加 (↑)	2. 横這 (→)	3. 減少 (↓)	1. 上昇 (↑)	2. 不変 (→)	3. 下落 (↓)									
1) 生産・売上高	21.9%	21.4%	41.2%	48.2%	36.9%	29.3%	24.1%	31.7%	38.3%	35.9%	36.1%	29.0%						
2) 製品単価	1. 上昇 (↑)	2. 不変 (→)	3. 下落 (↓)	1. 上昇 (↑)	2. 不変 (→)	3. 下落 (↓)	2. 6%	4. 7%	82.1%	81.9%	15.0%	12.3%	9.1%	10.7%	68.2%	64.5%	20.8%	21.4%
3) 採算	1. 好転 (↑)	2. 横這 (→)	3. 悪化 (↓)	1. 好転 (↑)	2. 横這 (→)	3. 悪化 (↓)	12.4%	14.9%	54.0%	59.1%	32.8%	25.0%	18.2%	14.8%	48.5%	44.8%	31.4%	37.2%
4) 所定外労働時間	1. 増加 (↑)	2. 横這 (→)	3. 減少 (↓)	1. 増加 (↑)	2. 横這 (→)	3. 減少 (↓)	14.2%	14.9%	58.8%	62.7%	27.0%	21.7%	11.7%	20.7%	58.8%	54.1%	28.1%	21.0%
5) 製品在庫	1. 増加 (↑)	2. 不変 (→)	3. 減少 (↓)	1. 増加 (↑)	2. 不変 (→)	3. 減少 (↓)	13.9%	15.2%	65.3%	62.0%	20.1%	21.4%	12.0%	17.6%	62.8%	60.0%	23.4%	18.6%
6) 材料原料単価	1. 上昇 (↑)	2. 横這 (→)	3. 下落 (↓)	1. 上昇 (↑)	2. 横這 (→)	3. 下落 (↓)	19.3%	15.9%	69.7%	64.1%	10.9%	18.5%	22.6%	66.9%	55.8%	28.6%	19.7%	0.7%
7) 総合判断	1. 好転 (↑)	2. 横這 (→)	3. 悪化 (↓)	1. 好転 (↑)	2. 横這 (→)	3. 悪化 (↓)	15.3%	13.4%	49.6%	63.4%	34.3%	22.1%	20.4%	21.0%	43.4%	40.7%	33.2%	32.8%
8) 来期の見通し (27/7～9の見通し)	1. 好転 (↑)	2. 横這 (→)	3. 悪化 (↓)						-									
	21.9%	18.1%	56.9%	54.3%	17.9%	22.8%												

5. 当面の経営上の問題(%)

※網掛けの数字は前回(平成27年1月～3月)の結果です。

1. 売上不振	2. 輸出不振	3. 製品単価安	4. 取引条件悪化	5. 過当競争	6. 輸入品との競合						
46.0%	39.1%	0.7%	1.1%	38.0%	43.1%	4.4%	4.7%	13.9%	15.6%	5.5%	5.8%
7. 流通経費増大	8. 原材料高	9. 借入負担増	10. 銀行の貸渋り	11. 人件費高	12. 技能者不足						
11.3%	9.8%	26.6%	25.0%	5.5%	8.3%	0.4%	1.4%	21.5%	23.2%	21.9%	25.7%
13. 技術力不足	14. マーケティング力不足	15. 設備過剰	16. 法的規制	17. 為替問題	18. 環境問題						
16.8%	15.9%	10.9%	12.3%	2.6%	1.4%	3.3%	2.2%	10.6%	8.3%	1.1%	2.2%
19. 人材育成	20. 研究開発	21. 事業承継	22. その他								
40.1%	40.2%	11.3%	10.5%	5.8%	8.3%	3.6%	3.6%				

5-22. その他の意見

- ・人材不足
- ・老朽化設備の更新
- ・電気料金の値上げ、内需不振
- ・電気料金が低い (アップ)
- ・人材確保

6. その他の意見がありましたら具体的にお書き下さい。

- ・4-6月期は最悪でした。上期全体は受注減、下期は少し増加見通し。
- ・ここ2年、海外への流出が止まった。
- ・今後量産品は減少するが、スポット的な仕事が増加見込みであり、パート又は派遣で乗り切っていく予定。これからはいかに会社をうまく縮小していくかが課題。ベースアップは難しい。
- ・現状、余裕が無いのにコストダウン要請が多すぎる。機会損失コスト<過剰在庫コスト>のことを理解いただきたい。
- ・円安により、輸入品価格の上昇が問題。
- ・受注生産型の形態なので、短期的にはお客の注文に完全に依存しており、自力で売上を上げる事は難しい。
- ・今は商社や材料メーカーと組んで客先にアタックすべき。又流動解析等求められるが、工業会で何か出来ないか
- ・商品がどの様に売れるか、常にお客様と接して少しでも商品開発に努める事が出来ると良い。
- ・4月からの電気料金の再値上げに際し、新電力への切替え等の研究をすすめる所存です
- ・電気料金の高騰が経営を圧迫している。原子力発電が停止されてから電気料金は約40%位実質値上げされている。関係機関へ業界あげでの働きかけが必要な時である。輸出関連は比較的好調であるが、内需はあらゆる業種が不調である。

事務局レポート

■第345回 理事会議事録

1. 日 時 平成27年7月16日 (木)
15時00分～15時45分
2. 場 所 第一ホテル東京 21階
[ルミエール]
東京都港区新橋1-2-6
電話 03-3596-7788
3. 出席者

大井 英一	大塚 一郎	佐藤 昭
川野 幸博	安達 七郎	嶋田 修二
内藤 隆夫	白石 恵一	平塚 隆文
曾我部 上	上村 俊彦	滝口 裕
肥後 武重	腰越 稔	小松 幹也
小野 勝彦	小林 輝男	池添 亮
高橋 廣		

以上出席19名(理事総数29名)
野邊弘一郎 (以上監事1名)

4. 大井副会長(会長代行)挨拶

本日は台風が近付きつつあり、足元の悪い中、お集まりいただき誠に有難うございます。

大野会長が所用で欠席のため、挨拶文を預かっていますので代読させていただきます。

～省略～

本日も理事の皆様にご審議していただく事項が多数ございますので、スムーズな進行をお願いしまして挨拶に代えさせていただきます。

5. 専務理事より定数の報告

昨年の通常総会・役員改選で理事が選出され、理事総数31名にてスタートしましたが、本年6月に辻 隆志(日本ビニロン)、鈴木幸雄(五合化学)の両氏が退会ならびに社長退任の理由で、理事を退任いたしました。従って、現在理事総数は29名です。本日出席者理事は19名であり定款第33条の規程より過半以上の出席があり、本理事会が有効に成立している旨の報告がなされた。

6. 議長選出

会長欠席のため、大井副会長(会長代行)が議長に選出された。

7. 議事録署名人

議長は、定款第34条により、同人と野邊監事が議事録に捺印する事を説明し了承された。

8. 議 事

議題1. 経過報告

(1) 役員会等の開催

5月21日	第47回通常総会	上野精養軒
5月21日	第172回幹部会	上野精養軒
5月21日	第344回理事会	上野精養軒

(2) 部会・委員会の開催

① 技能検定運営委員会

6月10日	水準調整会議	板橋校
6月13日	実技試験実施説明会	板橋校

② 能力開発推進委員会

6月20, 21日	技能向上講座(学科コース)	板橋校
6月27, 28日	技能向上講座(実技Aコース)	板橋校
7月4, 5日	技能向上講座(実技Bコース)	板橋校
7月8日	講師会議	東日本協会 会議室
7月11, 12日	技能向上講座(実技Cコース)	板橋校

③ 青年経営研究会 (JPO)

5月26日	役員会	東日本協会 会議室
6月25日	定例会	東日本協会 会議室
7月11, 12日	定例会 (囲炉裏を囲んだ懇談会&ゴルフ)	山梨・河口湖CC

④ APM会

6月10日	第167回例会	アスレチックGC
-------	---------	----------

(3) 支部会等の開催

5月22日	群馬県プラ振興協会総会	群馬県・伊香保温泉
5月29日	新潟県プラ振興会創立50周年式典	燕三条ワシントンホテル
6月18日	埼玉県プラ振興会総会	さいたま市民会館
7月14日	墨東支部会	東武ホテルレパント

(4) 全日本プラ連合会

5月26日	中部日本通常総会	
6月4日	第54回通常総会	名鉄犬山ホテル

終了後、経産省・化学課と意見交換会

6月5日 4地区協会親睦コンペ 犬山CC
議題2. 会員の入会・退会承認の件

(1) 退会の部

①会社名 日本ビニロン(株) (都心支部)

②会社名 信川化学工業(株) (墨東支部)

③会社名 南真化成工業(株) (都心支部)

※今回は入会はありませんでした。

議題3. 各部会・委員会構成、役割分担の件

昨年の役員改選以降、組織構成は同じ。資料17の通り、退任役員に係る変更である。

特に異議なく了承された。

報告事項

・本日の納涼会 司会は専務理事、会長挨拶は大井副会長等一部変更

・6月末会員アンケート調査結果について

・組合幹旋事業 ポリマー辞典、サタケ「保存食」の幹旋を8月から開始

・その他

本部：6月末残高試算表

別添の日銀短観資料、ハローワーク資料

次回第346回理事会：9/9(水)14時

(有楽町・国際フォーラムガラス棟)

以上、第345回理事会における審議を終了し、議長は15時45分、閉会を宣した。

【勉強会】

15時50分～17時 実施しました。

テーマ：「企業が行うべきマイナンバー制度への対応」

講師：三和コンピュータ(株)

ソリューション部 南里 龍平氏
営業シニアマネージャー

井上 梅明氏

営業 岩下 晃久氏



【勉強会風景】



暑さ厳しい折柄
皆様の御健勝を
お祈り申し上げます

平成二十七年

暑中お見舞い申し上げます

<p>電話 千 02 03 東京 荒川 区東尾久 五丁目一 〇三(五八 五五)三五 六〇</p> <p>代表取締役 福田晴通</p> <p>旭モールディング株式会社</p>	<p>浅間合成株式会社</p> <p>代表取締役 嶋田修二</p> <p>〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津081-1 TEL. 0555-73-2831 FAX 0555-73-2832 URL: http://www.asama-gosei.jp P-E-mail: shimach@poplar.ocn.ne.jp</p>	<p>明日の情報システムを想像する ASCOT</p> <p>株式会社 アスコット</p> <p>代表取締役 森井義雄</p> <p>本社 〒540-0021 大阪市中央区大手通1-4-10 大手町タワービル6F TEL. (06) 6944-9211 FAX (06) 6944-3233 東京支店 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-9-6 徳力本店ビル6F TEL. (03) 5209-0123 FAX (03) 5209-0121</p>
<p>株式会社 アフター</p> <p>代表取締役社長 実方京一郎</p> <p>〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南3-3-11 パシオン恵比寿504 TEL.03 (6303) 3748 FAX.03 (6303) 3746 URL: http://www.aftr.co.jp E-mail: info@aftr.co.jp</p>	<p>代表取締役 齋藤森作</p> <p>株式会社 荒川樹脂</p> <p>電話 千 02 03 東京 荒川 区荒川五 丁目三九 二〇三(三 八八九)五 七二(代)</p>	<p>設立九十年 最古の歴史・最新の技術</p> <p>株式会社 イカランコーカ</p> <p>代表取締役社長 佐藤義明</p> <p>本社 〒232-0202 川崎市高津区奈津七〇二 電話 〇四四八五〇一七二七(代)</p>
<p>株式会社 石果製作所</p> <p>代表取締役社長 大野泰昭</p> <p>〒136-0074 東京都江東区東砂6-2-9 TEL. 03-5665-7711 FAX. 03-5665-7712 URL: http://www.pla-part.com/</p>	<p>代表取締役社長 安達七郎</p> <p>代表取締役社長 安達公佐</p> <p>石田プレス工業株式会社</p> <p>本社 東京 中野区中央一丁目四一 電話 〇三三六二六三三三 FAX 〇三三六二六三三五</p>	<p>代表取締役社長 野邊弘一郎</p> <p>エンゼル産業株式会社</p> <p>本社 〒100-0001 東京都千代田区神田五丁目一四一三 電話 〇三三六七九一一〇六(代) FAX 〇三三六七九一一〇九</p>

平成二十七年

暑中お見舞い申し上げます

<p>Enplas 株式会社エンプラス</p> <p>代表取締役社長 横田 大輔</p> <p>〒332-0034 埼玉県川口市並木2丁目30番1号 電話 048 (253) 3 1 3 1 (代) http://www.enplas.com</p>	<p>FAX 電話 03 (3622) 3111 (代) 03 (3622) 3112 (代) 03 (3622) 3113 (代) 03 (3622) 3114 (代) 03 (3622) 3115 (代) 03 (3622) 3116 (代) 03 (3622) 3117 (代) 03 (3622) 3118 (代) 03 (3622) 3119 (代) 03 (3622) 3120 (代)</p> <p>代表取締役社長 原田 裕司</p> <p>OSK 大塚産業株式会社</p>	<p>電話 03 (5769) 2160 03 (5769) 2161 03 (5769) 2162 03 (5769) 2163 03 (5769) 2164 03 (5769) 2165 03 (5769) 2166 03 (5769) 2167 03 (5769) 2168 03 (5769) 2169 03 (5769) 2170</p> <p>代表取締役社長 昌谷 良雄</p> <p>川澄化学工業株式会社</p>
<p>KAWATA 先端技術とトータルシステムで貢献 株式会社カワタ</p> <p>代表取締役社長 白井 英徳</p> <p>〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-7-6 茅場町スクエアビル6F TEL. 03-5645-7880 (代)</p>	<p>株式会社環境経営総合研究所</p> <p>ERI Eco Research Institute Ltd.</p> <p>代表取締役 松下 敬通</p> <p>本社 〒150-0036 東京都渋谷区南平台町16-29 グリーン南平台ビル2F 電話 03-5420-3123 FAX 03-5428-3245 千葉工場 〒289-2505 千葉県旭市鎌数9163-35 電話 0479-60-5570 FAX 0479-60-5580 札幌工場 〒065-0045 北海道札幌市東区苗穂町14丁目2-21 電話 011-748-3850 FAX 011-748-3851 茨城工場 〒300-0003 茨城県土浦市紫ヶ丘1-2 電話 050-8886-7269 FAX 029-831-0071</p>	<p>電話 03 (3933) 6311 03 (3933) 6312 03 (3933) 6313 03 (3933) 6314 03 (3933) 6315 03 (3933) 6316 03 (3933) 6317 03 (3933) 6318 03 (3933) 6319 03 (3933) 6320</p> <p>代表取締役 工藤 哲夫</p> <p>KP 工藤プラスチック工業株式会社</p>
<p>離型剤・防錆剤・潤滑剤・洗浄剤の製造販売</p> <p>KOBEGOSEI 神戸合成株式会社</p> <p>代表取締役社長 宮岡 督修</p> <p>本社：兵庫県小野市匠台10番地 TEL: (0794) 64-7771 (代) FAX: (0794) 64-7772 URL: http://www.kobe-gosei.co.jp</p> <p>BIG FORCE</p>	<p>駒沢化成株式会社</p> <p>代表取締役社長 河野 八朗</p> <p>本社 〒252-0132 神奈川県相模原市緑区橋本台3-11-10 電話 042-7775-8770 (代) FAX 042-7775-8771 URL: //www.komazawa.co.jp/ E-mail: honsya@komazawa.co.jp</p>	<p>株式会社 SSG サトーコーセー</p> <p>代表取締役社長 佐藤 昭</p> <p>本社 〒174-0074 東京都板橋区東新町1-17-1 Tel: 03-3955-4066 Fax: 03-3955-2081 東松山 〒355-0071 埼玉県東松山市大学新道70-1 鶴岡 〒997-0011 山形県鶴岡市宝田1-10-51</p>
<p>本社 FAX 電話 03 (3863) 3579 03 (3863) 3580 03 (3863) 3581 03 (3863) 3582 03 (3863) 3583 03 (3863) 3584 03 (3863) 3585 03 (3863) 3586 03 (3863) 3587 03 (3863) 3588 03 (3863) 3589 03 (3863) 3590</p> <p>代表取締役社長 平塚 隆文</p> <p>SK 株式会社 三光社</p>	<p>ISO 9001登録企業 押出成形</p> <p>SKK 白石五業株式会社</p> <p>代表取締役会長 白石 恵一 代表取締役社長 白石 創士</p> <p>〒158-8501 東京都江東区亀戸5-4-4-8 電話 (03) 3683-3301 (代) FAX (03) 3683-3305 http://www.shiraishi-kk.co.jp</p>	<p>電話 04 (7233) 0471 04 (7233) 0472 04 (7233) 0473 04 (7233) 0474 04 (7233) 0475 04 (7233) 0476 04 (7233) 0477 04 (7233) 0478 04 (7233) 0479 04 (7233) 0480</p> <p>代表取締役 曾我部 大 取締役会長 曾我部 新上</p> <p>Shinjo 株式会社 新上</p>

平成二十七年

暑中お見舞い申し上げます

<p>STAR</p> <p>関東支店 支店長 三浦 基</p> <p>☆株式会社スター精機</p> <p>関東支店 〒327-0003 栃木県佐野市大橋町3241 電話 0283-24-8211 FAX 0283-24-5687</p>	<p>〒224-8522 神奈川県相模原市緑区橋本六五1-10 電話 042-777-4111 (中層) 777-1111 (F)</p> <p>代表取締役 生倉 茂</p> <p>セーチヨー工業株式会社</p>	<p> </p> <p>未来を創る 株式会社 ソディック</p> <p>代表取締役社長 金子 雄二</p> <p>〒224-8522 横浜市都筑区仲町台3-12-1 TEL: 045-942-3111 (大代) URL www.sodick.co.jp</p>
<p>〒100-0003 東京都江戸川区中葛西7-1-26 電話 03-3677-5111 (F)</p> <p>代表取締役 奥山 英明</p> <p>拓水工業株式会社</p>	<p>TECHNO</p> <p>テクノ精工株式会社</p> <p>代表取締役社長 野本 義三</p> <p>〒270-0113 千葉県流山市駒木台495-5 TEL 04(7155)6055 FAX 04(7155)6662 http://www.technoiseiko.com/ E-mail: info@technoiseiko.com</p>	<p>TENSHO</p> <p>プラスチックの総合メーカー 天昇電気工業株式会社</p> <p>代表取締役社長 石川 忠彦</p> <p>〒194-0004 東京都町田市鶴間687-1 天幸ビル17 TEL 042(788)1555 FAX 042(796) 6333 http://www.tensho-plastic.co.jp</p>
<p></p> <p>東芝機械株式会社</p> <p>代表取締役社長 飯村 幸生</p> <p>〒100-8503 東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル4F TEL: 03-3509-0295 FAX: 03-3509-0331</p>	<p>〒260-0113 長野市中御所1-1-20 電話 026-262-1111 (F)</p> <p>会長 小野 勝彦</p> <p>長野県プラスチック工業会</p>	<p></p> <p>株式会社 日新化成</p> <p>代表取締役社長 小松 幹也</p> <p>〒331-0046 埼玉県さいたま市西区宮前町821番地 TEL 048-624-8450</p>
<p>IPPLA</p> <p></p> <p>日本プラスチック工業株式会社</p> <p>代表取締役社長 浅見 好邦</p> <p>本社 東京都荒川区荒川4丁目53番2号 〒116-0002 電話 03(3807)8651番(代表) さいたま工場 さいたま市見沼区宮ヶ谷塔3-349 〒337-0011 電話 048(683)7281番(代表) http://www.nippla-web.co.jp</p>	<p> 独創技術のコンサルテーション</p> <p>株式会社 日本油機</p> <p>代表取締役 市川 博章</p> <p>本社事業所 〒252-0203 神奈川県相模原市中央区東淵野辺4-2-2 Tel (042) 757-6681 (代) Fax (042) 757-6683</p>	<p></p> <p>代表取締役 池下 龍一郎</p> <p>〒224-8522 茨城県稲敷市幸田二二三四七</p> <p>不プラスチック株式会社</p>

平成二十七年

暑中お見舞い申し上げます

<p>電話 千 11-022 03-3379-0103 11-03-11</p> <p>代表取締役 内藤 雅文</p> <p>平和工業株式会社</p>	<p>電話 千 09-021 06-6782-1281</p> <p>代表取締役 鈴木 木雅之</p> <p>株式会社 ホーライ</p>	<p> In search of support</p> <p>株式会社 松井製作所 代表取締役社長 松井 宏信</p> <p>〒141-0032 東京都品川区大崎1-6-4 新大崎勤業ビル9階 tel:03-5436-3521 fax:03-3495-5331 http://www.matsui-mfg.co.jp/</p>
<p>mc/nac 株式会社 三井化学分析センター</p> <p>代表取締役 三戸 邦郎</p> <p>営業統括部 〒103-0028 東京都中央区八重洲1-8-17 新橋ビル5F TEL:03-6860-3161 FAX:03-6860-3165</p>	<p> 常務取締役 清水 勲</p> <p>ムラテック情報システム株式会社</p> <p>本社 〒612-8686 京都市伏見区竹田向代町136 電話:075-672-8257 FAX:075-672-8307 大宮支店 〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町4-85-1 電話:048-649-6139 FAX:048-649-5123</p>	<p> 山下電気株式会社</p> <p>代表取締役社長 山下 慎一郎</p> <p>〒140-0004 東京都品川区南品川3-6-33 TEL (03) 3740-2401 URL: http://www.yamashita-denki.co.jp</p>
<p> 増田 英輔 代表取締役社長</p> <p>山宗株式会社 関東事業部</p> <p>東京都千代田区内神田2-15-2 内神田DNKビル6F 〒101-0047 TEL:03-5297-7987 FAX:03-5297-7979 http://www.yamaso.co.jp/</p>	<p><i>Heartful Technology</i>  株式会社ユーシン精機</p> <p>代表取締役社長 小谷 真由美</p> <p>■本社 〒612-8492 京都市伏見区久我本町11-260 電話 075(933)9555 FAX 075(934)4033 □東京統括営業所 電話 03(3245)0800 FAX 03(3245)0808 □北関東統括営業所 電話 048(665)2921 FAX 048(665)2927</p>	<p> 株式会社リーデンス</p> <p>代表取締役社長 肥後 武展</p> <p>本社 埼玉県入間郡三芳町大字北永井722 〒354-0044 電話 049 (259) 1161/0</p>
<p>東プラ健保に加入して 福利厚生の充実を!</p> <p>電話 千 11-022 03-3386-1105 11-03-11</p> <p>理事 植 時 常務理事 田 田 秀 周 一 明</p> <p>東日本プラスチック健康保険組合</p>	<p>東日本プラスチック製品工業協会 共済事業委員会</p> <p>～会員のお役に立つ事業を 推進しています～</p> <p>○各種ユニフォーム、安全靴、タオル等靴袋 ○ETCカード事業、腕ブラ事業 ○団体医療共済保険、PL保険、団体生命保険 ○ポリマー辞典、保存食、プラスチック手帳</p> <p>事務局 高橋 (電話 03-3541-4321)</p>	<p>全日本プラスチック製品工業連合会</p> <p>会長 川 寄 貞 藏 副会長 大 野 泰 昭 副会長 加 藤 豊 副会長 後 藤 鉦一郎 副会長 原 直 宏</p> <p>〒104-0045 東京都中央区築地3-12-5 電話 03 - 3541 - 4321 Fax 03 - 3541 - 4324 URL http://www.jpff.gr.jp</p>

都立中央・城北職業能力開発センター板橋校 プラスチック加工科（6ヶ月コース）



求人のお願いと10月生募集



プラスチック加工科では、射出成形技術について6ヶ月の訓練を行っています。

訓練生は、技能検定の射出成形作業2級程度の技術習得を訓練目標とし、プラスチック製品等の製造業に就くために成形条件の設定や不良対策、金型の分解・組立てなどもできるよう、日々訓練に励んでいます。

つきましては、訓練生向けの求人情報がありましたらご提供をお願いします。また、平成27年10月入校生の追加募集を予定しておりますので、以下の通りご案内します。

【10月生 追加募集】（予定）

- 訓練内容
 - ・金型の取り付け／取り外し
 - ・成形条件の設定／不良対策
 - ・金型のメンテナンス
 - ・仕上げ作業等の加工技術
 - ・製図／CAD操作
- 授業料 無料
- 選考内容 筆記試験（国語・数学）・面接
- 募集期間 平成27年8月26日（水）
～9月4日（金）
- 選考日 平成27年9月11日（金）



射出成形機取り扱い実習の様子

求人、訓練生募集、見学等のご不明な点につきましては、お気軽にご相談ください。



金型の分解・組立て作業



成形機（日本製鋼所J85EL II、他6台）



生徒作品（マグカップ、ヘアブラシなど）

担当指導員から一言

プラスチック加工科では、実務経験が無い方やプラスチック成形に関する知識が全くない方でも、懇切丁寧に指導いたします。訓練では、基本測定（製品の測定）から金型の構造、成形機の構造、材料、製品成形などの技能・技術を段階を踏んで習得できます。訓練修了時には、与えられた材料や金型、成形機などに応じた適切な成形条件を選択できる技能者になれます。また、東京都の受託訓練制度を活用し訓練生を派遣する企業もございます。

お問い合わせは

東京都立中央・城北職業能力開発センター 板橋校

174-0041 東京都板橋区舟渡2-2-1（JR埼京線 浮間舟渡駅 徒歩3～4分）

電話 03-3966-4131 FAX 03-3966-3161

担当指導員 臼井、三宮

業界OBの皆様の年金制度を継続します

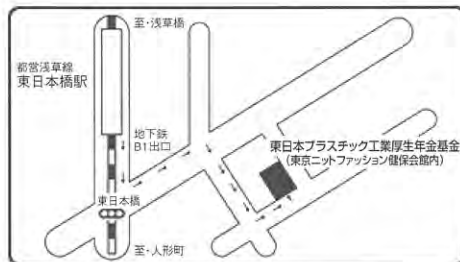
当基金では、昨年4月施行の厚生年金基金制度法改正に対し、東日本プラスチック業界のOBの皆様のお老後安定に貢献すべく、持続可能な制度設計へ抜本改訂を行ったうえで年金制度を継続する方針を決定いたしました。現在、加入中の事業所様の引続きのご支援をお願い申し上げますとともに、未加入の事業所様におかれましても、新制度へのご加入をご検討賜りたくお願い申し上げます。

法改正の内容や当基金の検討状況など、ご質問等がございましたら当基金までお寄せください。

東日本プラスチック工業厚生年金基金

理事長 宮越 健
常務理事 栗城 靖

住所 〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-5-13
東京ニットファッション健保会館2階
TEL 03-3862-4308 FAX 03-3851-7976



東日本プラスチック製品工業協同組合

～今後とも、会員企業のお役に立つよう下記の事業に積極的に取組んでまいります～

- 各種ユニフォーム・事務服、安全靴、タオル等斡旋
- ETCカード事業、廃プラ事業
- 団体医療共済保険、PL保険、団体生命保険
- プラスチック手帳
- ポリマー辞典、サタケ保存食の斡旋

上記事業を一般社団法人 東日本プラスチック製品工業協会と連携して実施しています。ご用命は下記へ。

東日本プラスチック製品工業協同組合
代表理事 嶋田 修二
電話 03-3541-4321 Fax 03-3541-4324